

# 活動状況のお知らせ

8月活動報告		9月活動報告	
1	月 理事会	1	木 デジタルサポート講座(トヨタ車体)
2	火 介護保険事業者講習会(県)	2	金 子育て支援会議(市)
3	水 15周年実行委員会		常滑市社協評議員会(市)
4	木 樽水・西阿野区長来訪	5	月 知多市社協来訪・企画委員会
5	金 デイハウスあかりボラ体験受け入れ	7	水 加藤建築来訪
	ゲートキーパー養成研修・デイ定例会(通)	8	木 市民協働会議(市)
8	月 企画会議・デイ部会(市)・15周年実行委員会	9	金 デイ定例会(通)
9	火 デイ食事定例会(通)・ゲートキーパー養成研修	12	月 15周年実行委員会
	子育て支援会議(市)・移動ネットあいち地区懇談会	13	火 デイ食事定例会(通)
10	水 ケアマネ部会(市)	14	水 白寿会来訪
11	木 市民協働会議(市)・介護保険部会(市)		市民会館・志多らとの打合せ
13	土 お盆休み(おいで屋 ~17日)	15	木 傾聴定例会・救急救命講習
	〃 (たすけあい事務所 ~15日)	16	金 運営委員会
15	月 サービスラーニング活動/学生来訪全8回	17	土 研修会(訪)・子育て支援研修部会(市)
17	水 プロジェクト会議	20	火 知多学園との打ち合わせ
	西浦北保育園児来訪(通)	21	水 加藤建築打ち合わせ
18	木 運営委員会	22	木 役員会
19	金 加古社労士来訪	26	月 15周年実行委員会・サポートちた理事会
22	月 知多学園との打ち合わせ・あやめ会訪問		プロジェクト会議(カルチャー部会)
25	木 河崎海事来訪	28	水 プロジェクト会議
26	金 樽水公民館老人会に訪問		自立支援協議会作業部会(市)
29	月 15周年実行委員会・NPOと行政の意見交換会(市)	29	木 三者協議会(市)
31	水 加藤建築来訪		

		8月	9月	
たすけあい活動	活動時間	在宅	145時間	154時間
		移動	206時間	199時間
	利用者数	在宅	31件	29件
		移動	48件	43件
	弁当利用者数	180名	227名	
訪問介護	利用時間	649時間	666時間	
	利用者数	49名	58名	
居宅介護支援	利用者数	43名	42名	
デイハウスあかり	利用者延数	203名	178名	
障害福祉等	利用時間	213時間	204時間	
サービス	利用者数	25名	20名	
おいで屋	参加人数	357名	416名	
なごみ舎	参加人数	66名	70名	
傾聴ボランティア	利用者数	29名	34名	

## ご寄付をありがとうございました

匿名 4名様

大切にに使わせていただきます

## 賛助会員(10月25日現在)

藤井咲子 加藤紀代 宇藤菊洋  
 杉江典子 小原和美 山田紀子  
 竹内八重子 吉川艶子 伊藤志づ江

ありがとうございます。  
 みなさまの温かいご支援があかりを支えます。  
 これからもよろしくお願いいたします。

会員数(10月25日現在)	
正会員	96名
賛助会員	124名+4団体
利用会員	86名
合計	306名+4団体



発行  
 常滑市塩田町2-135  
 特定非営利活動法人  
 あかり  
 TEL/35-4185  
 FAX/35-6862  
 http://akari-npo.jp

2011年10月  
 61号



## あかり 15周年記念事業

# ドーンと元気に、これからも



あかりの十五周年記念事業として「志多ら」の和太鼓演奏の公演を開催し、多くのみなさま  
 においでいただき会場をいっぱいにする事ができました。  
 本当にありがとうございました。  
 立ち上げた頃は代表宅を事務所所に、みんなで肩が触れるようにしていろいろなことを話し合  
 っやって来て、十五年になります。  
 NPO法人になりましたが、今でもみなで力を合わせてやっていくのがあかりのスタイル  
 です。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

## おいで屋催し物 11月、12月、ご案内 《月曜～金曜/10時から15時までオープン》

●展示(最終日/14時まで) **土・日・祝日は定休日**

心の風景写真/渡邊廉作品展 **10月31日(月)～11月25日(金) 10:00～15:00**  
 都築 遊水陶展 **11月28日(月)～12月22日(金) 10:00～15:00**

●催し  
 うたの広場 **11月29日(火) 10:00～11:30**  
 ぼすてるはーと 参加費 200円(お抹茶と手作り和菓子付き)

あかりホームページ更新中;おいで屋/メニュー、おいで屋・なごみ舎/予定表  
 広報もカラーでご覧下さい

# 楽しく終わった記念事業

あかり15周年記念事業が無事に終わりました。

来場者は1100人を超え、文化会館は熱気に包まれていました。

本当に大勢の方に足を運んでいただき感謝の気持ちでいっぱいです。

事業にあたり、たすけあい・訪問・障がい・デイなど、各担当から実行委員を募り、活動の終わった夜の時間に何度も話し合い、会員のみなさんも午後からの催しに朝早くから集合して様々な作業に総出であたり、盛り上げてきました。

そして当日、和太鼓演奏の前にあかりの歩みとこれからの動きをパワーポイントで紹介しました。伝えたいことがたくさんあり過ぎて、時間内に収めるには苦労もありました。しかし、あかりの活動とそこにしている人たちの思いの強さがゆえと改めて感じ、その思いを少しでもご来場の方々に知っていただく良い機会となり、よかったですと思っています。

“志多ら”の和太鼓演奏はすごいパワーで、演目が終わるたびに拍手がどんどん大きくなって、会場が引き付けられていく様子がよく伝わってきました。

力強い太鼓の音に心踊り、休みなく続くパワフルな演奏や踊りに目を奪われました。そして、和やかな雰囲気由来場者と楽しく太鼓を叩きながら交流する場面もあり、子供から大人まで楽しめる企画も盛り込まれていました。

来場者から「すごかったね」「よかったですね」とのお声をいただき、皆さんと一緒に元気をもらって、感動を共有できたことを嬉しく思います。

15周年記念事業であかりの結末は以前にも増して強くなったように感じました。来年度からの新事業をこの勢いで進めていきたいと思っています。

世代を超えて皆が楽しく生きる場所、集う場所として、居心地のよい交流の場を作ろうと夢は膨らんでいます。

この15年間、多くの地域の方々に支えられてやってまいりました。

あかりはこのことを感謝し、誠実に活動を続け、たすけあいの心を大切に今後も頑張っていきたいと思っていますので、ご支援、ご指導のほどよろしくお願いたします。

実行委員長 小河 直美

## 生きがい活動講座②

**楽しい旅のつくり方** 11月7・14・21日(月)【全3回】13:30~15:15

講師/吉川 堅一氏 (株)楽旅プラン代表取締役 場所/常滑市福祉会館 G室

参加費/1回300円(お茶代)

**着物文化を楽しもう** 12月6・20・1月17・24日(火)【全4回】13:30~15:00

アドバイザー有り

場所/おいで屋(常滑市保示町1-63)

参加費/実費

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉進行助成事業の助成を受け「生きがい活動講座」を開催します。

既に第1段は始まっていますが、上記の第2段を新しく始めます。

いま、私たちの周りでは時間感、距離感がどんどん縮まって行くような気がします。

けれど、人と人との間だけは広がっていくように感じられ、そんな中、今回の災害では絆の大切さが改めて認識されました。そんなことを思い、好奇心を持って、みんなで楽しくできる講座を開催、計画中です。

### 体験農業教室



### デジカメ活用塾



第1段で開催された2つの講座の様子です。

## 広げたい！ 傾聴ボランティア活動

あかりが「傾聴ボランティア」アマリリスとして活動をはじめて2年半になります。そもそも活動の契機となったのは平成20年12月、あかりの地域交流事業の一つとして、常滑市社会福祉協議会の協力を得て、NPO法人ホールファミリーケア協会理事長 鈴木絹英氏を迎え「よい聴き手になるために～傾聴の意味と意義～」の講演会でした。そして、21年4月より、むらさき野苑・さざんかの丘・しろやまの施設の傾聴をスタートさせました。その後、傾聴ボランティアの意義、大切さを多くの方に知っていただき仲間を増やしたいとの想いで、21年12月には社協共催で2回目の養成講座を行いました。お蔭様で少しずつ輪が広がり、現在ボランティア29名となり、施設での傾聴も月40名前後に増え、個人宅への訪問も始めました。

傾聴になっているのだろうかと思ひながらも、

- ①一瞬でも楽しくいてもらう ②元気があった時を思い出してもらう ③不安を取り除く

ということを心に留め、活動しております。

月1回の定例会は日々の活動を振り返ったり、励ましやアドバイスをもらったりとボランティアの質を維持・向上させる貴重な時間となっています。また、スーパーバイザーとして鈴木絹英先生をお呼びして『スキルアップ講座』を年1回は開催、活動上の困難事例を話し手・聴き手・観察者に分かれてロールプレイやグループワークを行い、解決の糸口を見つけるようにしてきました。

活動を重ねるにつれ、傾聴は本当に難しく奥が深いと実感する日々です。しかし、相手からもらう喜びも大きく、継続の力になり、スキル向上への意欲になっています。

昨今、傾聴ボランティアの活動の様子が新聞やテレビ等で報じられることが多くなってきました。特に、東日本大震災での活躍は自分のことのようにうれしく思いました。

あかりの傾聴ボランティア活動についての認知や理解も広がり、様々なところから傾聴や活動についての問い合わせが来るようになり、先日も知多市社会福祉協議会の知多市総合ボランティアセンターから、

「傾聴ボランティアフォローアップ研修」に呼んでいただき、交流会を持ちました。

また、独立行政福祉医療機関 社会福祉進行助成事業から助成をもらえることになり、12月3・4日(土・日)に、第3回目の「傾聴ボランティア養成講座」を開催することになりました。子育てネットワーク養成講座の一部にもこの養成講座が組み込まれました。このように傾聴の輪がいろいろな世代、地域に少しずつ広がっていくことはとても心強く思います。

この傾聴ボランティアの活動が人と人のやさしい温かいつながり・絆を築く力の一助になることを願っています。傾聴ボランティアの活動をはじめませんか。

アマリリス 竹内 雅代

あかり15周年記念事業には本当に多くの方においでいただきました、また、大勢の方にお祝辞をいただきました。ありがとうございました。

困ったときはお互いさまの気持ちで「私たちの街に小さなあかりを灯しませんか」と手をつなぎあって活動を始めてから15年も経ったのだと感慨もありますが、まだ15年か、と思う気持ちも一方であります。新しい事業に備えて気持ちを引き締めなければと思っています。

今回、「あったかじゅうたんを贈ろう～つながろう！緊急キャンペーン」という、被災地へホットカーペットを送ろうという活動が「NPO法人 市民福祉団体全国協議会」の呼びかけで行われます。多くのみなさまの温かいおこころをいただいたあかりとして、わずかばかりですがみなさまのお気持ちとともに参加しようということになりました。ほんとうにありがとうございました。